

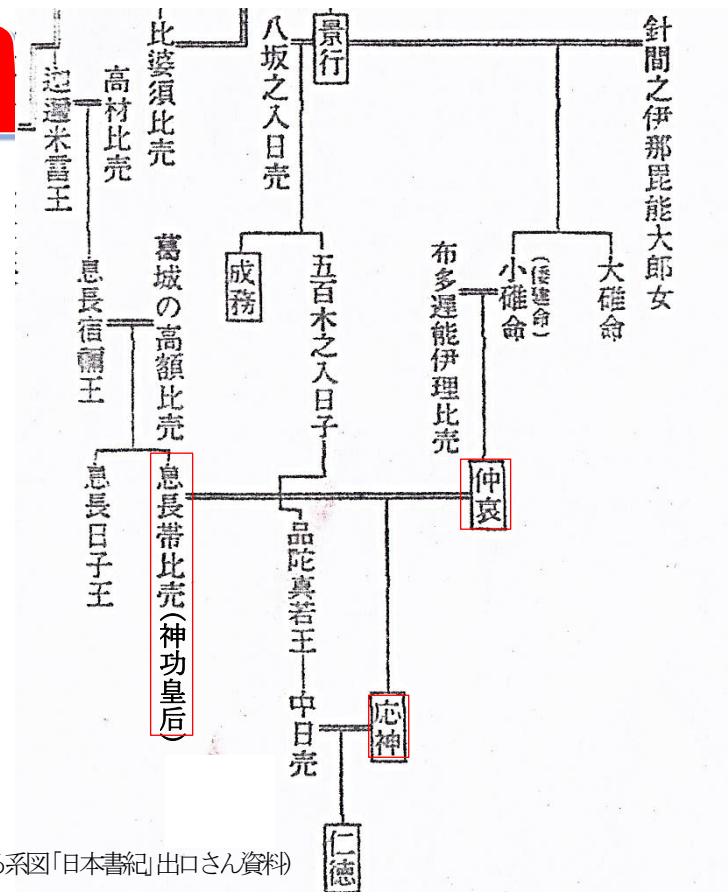
新・八幡の歴史 7回目

前回は石清水八幡宮の三神の神功皇后、応神天皇、比売大神（応神天皇の妃）のとても詳しいお話でした。神功皇后は妊娠中でありながら、新羅に出征。海の神を味方にし、魚が集まって来て船を担いたと言われる。帰国後、応神天皇を生む。夫の仲哀天皇は神のお告げを信じなかったために天罰を受けなくなってしまったという、悲しい一生。何が本当のことなのか、史実はわからない。第15代の応神天皇、在位41年110歳（日本書紀による）。出口さんは、応神天皇が実在の可能性のある最初の天皇と言われた。

当時の技術的なことや地名などから、古代、朝鮮半島から多くの人々が渡ってきて、日本の礎になっている部分があると容易に推測できるそうです。7回目はその続きから。

- ① 日時 2018年11月1日(木) 13時30分～
- ② 講師 出口修さん
- ③ 参加費 100円

新・八幡の歴7回目です。新しくスタートしています。前のお話と違う部分も話されるそうです。



八幡まるごと館 / 八幡市男山松里12-20

(TEL&FAX) 075-983-3664

(E-MAIL) yawata@marugotokan.net

ホームページは <http://marugotokan.net/>

又は、八幡まるごと館で検索して下さい



八幡まるごと館は街行く人のだれもが自由に立ち寄れる“地域サロン”です。休館日は毎週火曜日全日と土日午後です。